

平成30年度

2018

恩納村施政方針

1 はじめに

本日、平成30年度の予算並びに議案の審議をお願いするにあたり、私の所信並びに主要施策の概要を申し述べさせていただきます。

私が、村長に就任してからはや3年の歳月が経過しました。この間、二元気で、活力ある恩納村」の創出を基本に公約の実現に取り組んでまいりました。これもひとえに村民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力の結果と考えており、ここから感謝申し上げます。

本年度は、村政110周年の記念すべき年になります。節目を

祝う記念式典の開催や記念イベントとして第35回うんなまつりにおきまして「サンゴの村宣言」を実施してまいります。「恩納

村第5次総合計画・後期基本計画」並びに「恩納村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点施策である若年層の定住促進につましましては、住まいの確保や子育て世帯の支援強化を図ってまいります。また、村立中学校統合につきましても中学校統合推進室を新設し、平成32年4月開校に向けた諸作業を進めてまいります。

それでは、平成30年度の各分野における施策の概要についてご説明申し上げます。

2 教育・文化

(1) 教育行政について

強さをもち、心豊かで健やかな人生の実現をめざす教育を推進してまいります。

① 幼稚園教育の充実について

村の将来を担う人材を育成する上で、人づくりはむらづくりを基本として捉え、学校及び社会教育の果たす役割は大きく、幼稚園及び義務教育において学習の基盤となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）の育成及び主体的・対話的で深い学びの教育の充実に努めてまいります。

② 学校教育の充実について

学校教育においては、いじめや不登校及び家庭の抱える諸問題等、きめ細かい支援を行うため、スクールソーシャルワーカーを増員し、一人ひとりの

また、安心して学習のできる環境をつくるため、就学前からの支援を展開し、自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり